

人と動物が幸せに 共生できる社会を目指して

太古の昔から、動物は人間が生きていくために欠くことのできない存在でした。しかし、現代では動物と人間の関係は、商業主義の中で大きく変えられ、「生きた命」としての動物の姿が見えにくくなっています。人間が動物に対し一方的に犠牲を強いることなく、人間と動物が共生することは可能なのでしょうか。

今回、動物愛護の現場で実践的な取り組みを続けてこられた杉本 彩さんを講師としてお招き、日本における実情と今後の展望をお話しいたします。また、ドイツ在住で、ドイツの動物愛護運動に深く関わってこられた南 香代子さんにはコメンテータとして加わっていただき、ドイツにおける先進的な事情についても紹介していただく予定です。来場者と共に、動物と人間のあるべき関係について考えていきたいと思えます。



●日 時 2014年 11月 18日（火）午前9：00～10：30

●場 所 同志社大学 今出川キャンパス 同志社礼拝堂

●講 師 杉本 彩

女優・一般財団法人動物環境・福祉協会Eva理事長

●プログラム

【司 会】小原 克博（同志社大学 神学部教授）

講 演：杉本 彩

コメント：南 香代子（ドイツ在住ジャズ・シンガー、右写真）

パネル・ディスカッション、フロアーとの質疑応答

●入場無料、事前申込不要。

●この公開シンポジウムは、同志社大学 秋学期開講科目「キリスト教倫理（現代におけるキリスト教倫理の諸問）」（小原克博・担当）の一部を一般公開するものです。

●お問い合わせ 小原克博（e-mail: kkohara@mail.doshisha.ac.jp）

